

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBU NEWS

NURSE LETTER

12

Month



院内医療安全パトロール

医療安全週間

医療安全パネルディスカッション

南6 事故防止委員: 飯尾糸史

H. 20年11月23日～29日まで医療安全週間でした。11月27日はメイソンともいえる医療安全パトロールでした。今年のテーマ、『患者誤認』に重点を置きパトロール隊は各部署へ出陣して行きました。毎年どこの部署においても、安全を求め試行錯誤をし、患者様の安全を目指しています。今回の結果では、どこの部署も「患者誤認」しないようにその苦心の跡が感じられ、きちんと実施できていました。これからも、頑張っていきましょう！



だんだん。

南5 事故防止委員: 広兼美恵

医療安全パネルディスカッションが、12月5日に開催されました。診療部・医事課・検査科・薬剤部・臨床工学部・リハビリ科・看護部による発表、その後引き続いてパネルディスカッションが行われました。各部門ともマンパワー不足の中、多彩な業務に携わり多忙を極めている現状がありました。その中でより安全で確実な医療の提供を目指し、各部門の専門性と連携の強化による業務の省力化を行うことは、今後益々重要になってきます。今回のディスカッションを通じて、院内の厳しい現状を理解した上で、小さなことからでも協力し合い、少しでも効率化につながる関係を築く必要があると痛感しました。今後もこのような取り組みを行い、院内全体で連携強化の輪を進めていければと思います。

地域医療連携研修会

ICU 師長 補佐 高橋 令子

11月27日愛媛労災病院にて介護支援専門員や介護職員の方々が約100名参加され、地域医療連携研修会を開催しました。研修は要望の多かった吸引やポートの管理、尿路カテーテル管理とスキンケアについて行われ地域医療に携わる方々に関心のある内容でした。また北7病棟から「退院支援と介護支援専門員との連携強化に向けて」のアンケート結果が報告されました。労災病院は敷居が高く、声をかけにくい印象があるようです。退院調整や在宅介護には地域医療連携が不可欠です。お互いに何でも相談し合える信頼関係を築くため、看護師一人ひとりがそのことを理解し、地域との連携を心がける必要性を感じました。これからも気持ちよく笑顔で頑張りましょう。



クリニカルパス大会

11月14日、オーダーリングシステムでパスが稼働し、初めてのクリニカルパス大会が開かれました。まだまだ問題も山積み普及には時間が必要のようですが、運用の仕方如何によっては、便利で業務の効率化も図れる優れものです。今回は特に、化学療法パスに関して薬剤部・看護部、それぞれの立場での発表がありました。化学療法は今後外来への移行が考えられ、更なるチーム医療の協同が必要であることや、病棟と外来の連携が大切となることがわかりました。今はまだオーダとペーパーでのパス使用となっていますが、可能な限りオーダに乗せ、パスが有効に活用されるようワーキングメンバーを始めみんなで取り組んでいきましょう。



Christmas concert

12月19日 薬局前ホールにてクリスマスコンサートが開催されました。職員OBによるマンドリンのほか、今年は小さなサンタ=垣生小のみんなが < 歌声と共に季節 > のプレゼントにやってくれました。かわいい歌声に、患者さんの顔は自然と笑顔に変わっていました。瞬間でも心と心時間が過ごせたのではないのでしょうか？

みなさんのもとへも、
きっとサンタはやって来る！



つばやき...
DEC.2008
見てごらんよ。
こんなに頑張って
歩いてきたじゃない！